

中心市街地拠点施設整備促進委員会が答申書と提言書を提出しました



【現状の安城更生病院跡地】

中心市街地拠点整備事業について各派代表で意見調整を重ね、本事業計画の素案に対して6項目31要望からなる議会の統一見解をまとめ、8月8日に議長に答申書を提出するとともに、議会の意思として市長に提言書を提出しました。その結果、提言書の内容を反映した中心市街地拠点整備事業(案)が作成され市民に公開されました。

【主な議会からの要望項目】

◆公共施設について

図書館が主体となり、子育て支援・介護予防・健康支援機能などを導入しあらゆる世代が集える場とすること。その他、多目的ホールの防音機能、駐車場の利便性や渋滞緩和、公園には木陰や親水施設などを設置することなど。

◆民間施設について

地域密着の商業施設だけでなく他市からの交流人口の見込める集客性のある店舗を導入し、まちの賑わいや活性化に努めること。その他、公共施設との一体感のあるデザインやランドマーク性、人の導線など利便性に配慮することなど。

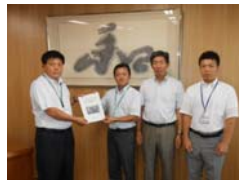
◆説明会の開催について

市全域の地域ごとに事業計画の市民説明会を開催し事業主旨と概要の理解を得ること。

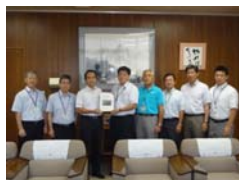
【市民説明会を4回開催】



【議長に答申書を手渡す坂部委員長】



【議会代表で市長に要望書を提出】



国道23号線 知立バイパスが全線4車線化完成へ！



安城西尾IC～和泉ICの区間(約2.6km)が順次4車線化され知立IC～(約16.4km)の4車線化が完成します。

【名古屋方面：平成24年10月20日(土)14:00開通】
【豊橋方面：平成24年11月10日(土)14:00開通】

隣接する岡崎IC～(藤井IC～安城西尾IC間は平成24年12月を目標に4車線化を進めています。【4車線化が進む知立IC～(約16.4km)の4車線化が進む知立IC～(約16.4km)の4車線化を進めています。《4車線化の効果》豊橋方面約4分、名古屋方面約3分の所要時間が短縮されます。



くらしの相談コーナー みなさんの声をお聞きます！

私たち組織内議員は各級議員と連携を取りながら、みなさんの暮らす地域での困りごとや市政に対する意見などを行政に繋げ、解決を図る活動に取り組んでいます。

【改善前】
小学校の通学路において横断歩道の位置が悪く待機場所もなく危険である。横断歩道の位置を変更して欲しい。

【改善後】
横断歩道の位置を道の反対側に移動させ待機場所を確保しました。



お気軽にご相談下さい！



＝ 後援会連絡所 ＝
〒446-0058
安城市三河安城南町1丁目11番地5
TEL : (0566) 77-2874
FAX : (0566) 77-3314
Email : sakabe@isd.aisin.co.jp
URL : http://blog.goo.ne.jp/sakabetakash

夢と希望が持てる街 安城に 坂部たかし 後援会だより No.27 2012 秋号

坂部たかし後援会発行 〒446-0058 安城市三河安城南町1丁目11番5 (0566)77-2874 email:sakabe@isd.aisin.co.jp



安城市議会議員 坂部 隆志

常任委員会：市民文教常任委員会 委員
特別委員会：エネルギー政策特別委員会 委員
議会だより編集委員会 委員長

爽やかな秋を迎え、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、震災から1年と半年が経過しましたが、被災地の復興・再生を始め、歴史的な円高水準や国内産業の空洞化、長期におよぶデフレの継続、不安を抱える社会保障制度など克服していかなければならない課題が山積しています。また、尖閣諸島や竹島など領土問題に端を発した反日感情の高まりによる不安定な外交、人的・物的な被害や経済への波及懸念など、深刻な危機にも直面しています。日本維新の会の発足、自民党の新総裁誕生する中、野田新内閣が発足しましたが、こうした重大な局面においては国家国民のため、協力し知恵を出し合い必要な措置を早急に実施できるよう、円滑な国会運営を願う次第であります。

安城市においては平成23年度決算審議も終え、厳しい行財政状況ではありますが全国有数の健全財政を堅持しております。こうした状況下、市議会では中心市街地拠点整備事業の事業内容について会派間で一定の結論を得て、議会での統一要望との形で要望書を市長および執行部へ提出し、民意を反映した事業計画案の修正も致しました。

引き続き市民目線による活動を展開して参ります。今後とも変わらぬご支援ご協力をお願い申し上げます。

【坂部たかし活動topics】

【JAW政策推進コンベンション】



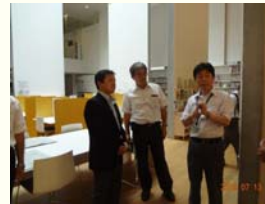
コンベンション終了後の懇談会会場にて梅床現総務大臣と意見交換させていただきました。

【犯罪抑止モデル地区決起大会】



犯罪抑止モデル地区決起大会に出席し、犯罪抑止への取り組みと地域コミュニティについてご挨拶させていただきました。

【市民文教常任委員会行政調査】



新図書館計画の参考に長野県塩尻市の市民交流センター「えんばーく」を訪問し施設館長から運営状況の説明を受けました。

【エネルギー政策特別委員会行政調査】



とよだ ecofutownにてスマートリやITSなど次世代の環境技術を集約した低炭素社会について行政調査を行いました。

【安城七夕開催キャンペーン】



アイシン精機(株)安城工場にて安城七夕親善大使とともに安城七夕のPR活動を行いました。

【60周年記念事業夏季巡回ラジオ体操】



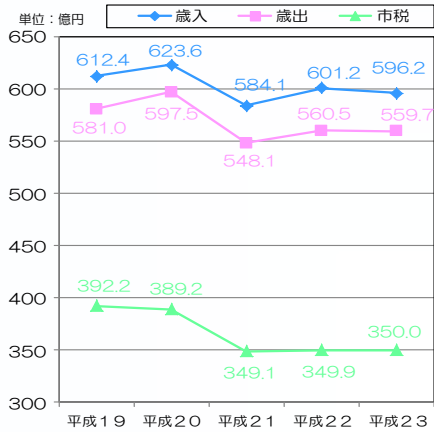
NHKラジオ第1放送の「夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会」が安城市で開催され東山会場に参加しました。

平成24年度9月定例議会報告

平成24年度9月定例議会は9月3日（月）～25日（火）までの23日間の日程で開催されました。上程議案は平成23年度決算の認定11件、条例改正など9件、補正予算3件、報告2件、同意1件、議員提出議案2件の合計28議案を審議し、全て原案通り可決。陳情1件を処理し閉会しました。

一般会計および特別会計の決算総額は
歳入：885億8,532万円 歳出：839億8,578万円
実質収支は36億2,122万円のプラス会計！

《一般会計 年度別決算状況の推移》

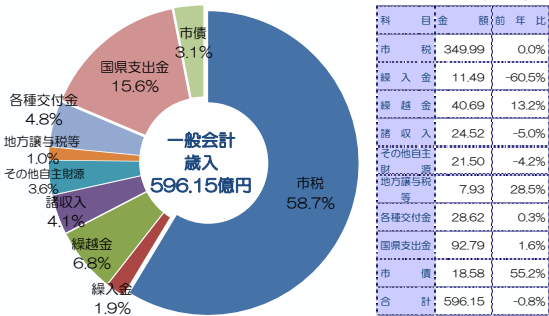


《平成23年度決算概要》

会計別	歳入額	対前年比	歳出額	対前年比	差引残高	実質収支
一般会計	596.15	-0.8%	559.69	-0.2%	36.46	30.13
特別会計 国民健康保険等 9会計	289.70	-0.3%	280.17	-1.0%	9.53	6.08
合 計	885.85	-0.7%	839.86	-0.4%	45.99	36.21
企業会計 経営収支 (水道事業)	29.00	-1.47%	27.28	-0.40%	1.75	1.72
					(経常損益)	(純損益)

一般会計の歳入では前年比-0.8%5億846万円の減額で、主たる要因は震災の影響による法人市民税3億9,586万円の減額、固定資産税1億322万円の減額などによるものです。歳出では前年比-0.2%8,554万円の減額で、概要として退職手当等の減額などで総務費は-10.6%、児童手当・子ども手当の増額など民生費が+5.8%、テレワーク・リニューアブルなどで農水費+18.2%、エコカー補助などで商工費が+26.7%、新安城駅のバリアフリーの完了により土木費が-7.3%となっています。

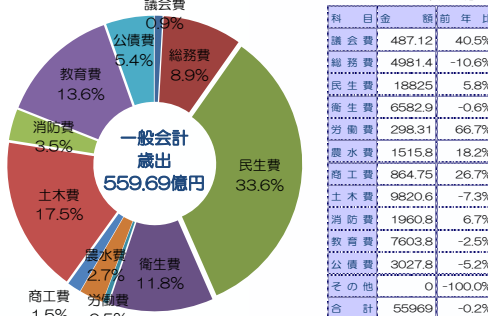
《一般会計 歳入決算額構成比》



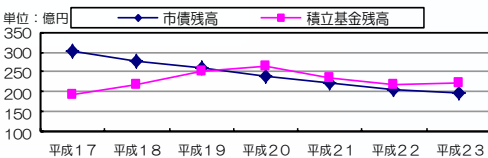
《市税収入の状況》

税 目	平成23年度		平成22年度		前年度比率	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	比率
市民税	147.28	42.1%	148.84	42.5%	-1.56	99.0%
個人	116.77	33.4%	114.37	32.7%	2.40	102.1%
法人	30.51	8.7%	34.47	9.9%	-3.96	88.5%
固定資産税	163.80	46.8%	164.83	47.1%	-1.03	99.4%
都市計画税	22.95	6.6%	22.23	6.4%	0.72	103.2%
軽自動車税	2.67	0.8%	2.61	0.7%	0.06	102.3%
市たばこ税	13.28	3.8%	11.36	3.2%	1.92	116.9%
合 計	349.98	100.0%	349.87	100.0%	0.11	100.0%

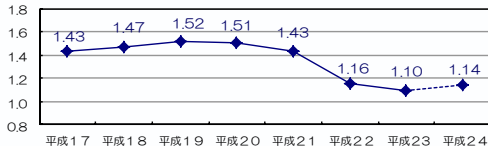
《一般会計 歳出決算額構成比》



《市債・基金残高の推移》



《財力指数について》 財力指数を示す指数1.00より大きければ良好



厳しい財政状況の中でも市債を約8億4千万円償還し基金を約6億6千万円積み増しています。財力指数も良好で依然として全国でも有数の健全財政を堅持しています。

■平成24年度9月補正予算について

一般会計では**5億802万円を追加し574億7,073万円**、特別会計では下水道事業および介護保険事業の2事業に**969万円を追加し312億9,269万円**となりました。

- 新美南吉生誕100年記念事業 755万円
新美南吉没後70年記念式典運営委託料および新美南吉紹介映像制作委託料など。
- 不活化ポリオワクチン接種事業 1億円
平成24年9月1日から生ポリオワクチンの定期予防接種が中止され単独の不活化ポリオワクチンの定期接種が導入された。ジフテリア・百日せき・破傷風・不活化ポリオワクチン(DPT-IPV)の4種混合ワクチンの定期接種は、11月開始を予定している。
- 南明治まちづくりアドバイザー事業 150万円
JR安城駅周辺のまちづくり、景観形成、拠点整備事業などへのアドバイスを求める(涌井雅之氏)
- 小中学校校舎整備・施設改修事業 6,800万円
・校舎トイレ改修設計委託料(中部小、明和小)、錦町小屋内運動場屋根改修工事費
・東部小校舎改修工事設計委託料
・太陽光発電設備設置工事設計委託料(北中、明祥中、桜井中、東山中、安祥中)

■請願・陳情

- 私立高校の父母負担を軽減し、学費の公私格差を是正するために市町村独自の授業料助成の拡充を求める陳情
不採択 (理由)市独自の授業料助成を廃止する市町村もある中、安城市は近隣他市に遜色ない助成制度を維持している。公私間格差については高等学校等就学支援金を所管する国や県が検討すべき。
- ⇒ 国および県に私学助成の増額と拡充に関する意見書を提出することを議決しました。

＝ 坂部たかし 議案質疑・決算特別委員会など主な発言と主旨 ＝

◇生活保護事業について

生活保護が必要な世帯はしっかりと社会全体で支えなければならないが、生活保護の助成は受給世帯の所得や就労状況など厳格に審査し運用しなければならない。その上で、就労支援など受給世帯が自立して幸せに暮らせるよう支援するとともに生活保護費の削減に努めること。

◇防犯灯の設置補助制度について

平成23年度より新規更新される防犯灯をLED化したが必要箇所防犯灯が設置されるよう運用を見直すこと。

◇いじめ問題について

安城市の小中学校のいじめ認知件数は減少傾向にあるが、いじめに発展しそうな事案や本人が苦痛に感じる事案なども顕在化させ、いじめから子どもたちを守り深刻な状況にならないよう、地域・家庭と連携した早期発見と常習化の防止に取り組むこと。

◇通学路などの安全対策について

生徒児童が被害を受ける事故が多発し緊急な安全点検も実施しているが、まずは市が設置している標識や表示板などは全て台帳化し管理状態にして、地域要望によって修繕する体制から計画的に維持管理する体制に改め、通学路などの安全対策に努めること。

◇資源ごみの持ち去り禁止について

平成23年4月から資源ごみの持ち去り禁止条例が施行され、資源ごみにおける缶の収量も76トン増加し一定の効果が出ているが、現在はごみステーションなどの監視パトロールは終了し“持ち去り禁止”のほり旗もあまり見なくなっている。資源ごみの持ち去り禁止は市民への意識啓発や持ち去りする者への監視を継続的に行うこと。

市制施行60周年記念事業【子ども議会】が開催されました。



5年毎に開催されている子ども議会が市制施行60周年記念事業の一環として開催されました。市内8中学校、各校代表3名の計24人の生徒が議員となり、安城市の市政運営について堂々と登壇し質問が行われました。
 環境首都の実現、まちづくり、防災対策など将来の都市像や現在の行政課題に対して、大人とは違う中学生の視点から質問が行われ、多くの貴重な意見や提言が出されました。

登壇する中学生たちは「私たちは安城市が大好き!」、「大人になっても住みたい!」、と、大好きな自分の住むまちを自分たちの手でさらによくしたいとの意気込みが感じられます。

議会での反省会では5年の周年事業ではなく、最低でも3年間隔で広く中学生に機会を与えてはどうか?一生懸命に取り組む中学生に敬意を表する意味でも、「子ども議会」の名前を「みらい議会」、「中学生議会」などに変更すべきではなか?との意見が提案されました。

市制施行60周年記念事業 安城市子ども議会 平成24年9月21日